

Blog Entry 101 ハッピー・聖ニコラウスの日！

皆さん、グーテン・ターク。ジェニーです。

今日、12月6日は「聖ニコラウスの日」です。ご存知ですか。

聖ニコラウスはサンタクロースのモデルとなった人で、子供たちが12月5日の夜に靴を綺麗に磨くと、その靴の中にお菓子や果物などのプレゼントを入れてくれます。

また、聖ニコラウスは幼稚園なども訪問して、一年中いい子だった子供に小さいプレゼントを渡します。もちろん実際はみんなに渡しますが、先生たちや両親が聖ニコラウスの日が近づくと、「いい子にしないと、聖ニコラウスが来ないよ！」とよく言います。

ちなみに、ドイツの子は、小学校に入るまで聖ニコラウスが本当にいると信じていますが、私は幼稚園の時、もう信じなくなってしまいました。それは父の靴のせいでした！その年、父が聖ニコラウスに仮装をして、私が通っていた幼稚園を訪問してくれましたが、履いていた靴がいつもの靴だったので、「あれ、お父さんの靴だ！」と気付いてしまい、皆にばらしてしまいました(笑)。ちょっと残念でしたが、それでも高校を卒業するまで、毎年12月6日に靴の中にプレゼントが入っていたので嬉しかったです。



From Rokkasho with love,

Jenny♡

2016年12月06日

皆さん、グーテン・ターク。ジェニーです。

私は、六ヶ所村に来てから、「家に入る前に靴を脱ぐという日本の習慣にびっくりしたでしょう?!」と何回も言われたことがあります。ですが、正直にいうと、靴を脱ぐということは、私にとって当たり前で、決しておどろくことではありません。ドイツの実家でも家の中に入る時は、靴を脱いでいるからです。ただし、日本と違って、靴を脱ぐか脱がないかは家庭によります。初めて人の家を訪れる場合は、靴を脱ぐ家かどうか分からないので、「靴はどうしましょうか」とよく聞きます。私の経験では、「脱いでください」という答えが多いような気がします。日本のように入り口に段差がないので、玄関のような靴を脱ぐ場所がありません。家に入ってから廊下で靴を脱ぐこととなります(写真は実家の玄関です)。

靴を脱ぐ家でも、スリッパが置いてないので、家の中では靴下のまま歩くのが普通です。寒がり屋の人は、自分専用のルームシューズを持参する場合があります。

もしドイツに行く機会があったら、ぜひ家に入る前にその習慣について聞いてくださいね。



写真:実家の廊下

From Rokkasho with love,

Jenny♡

2016年12月06日

皆さん、アンニョンハセヨ(こんにちは)！

2017年になりました。セヘ・ボン・マニ・バドゥセヨ(明けましておめでとうございます)！

先日、国際教育研修センターにて行われた日本文化体験に参加しました。センターでは様々な文化体験が行われていますが、今回は「布ぞうり」を作る体験でした。

布とひもだけでぞうりを作るのは、朝から午後までかかる大変な作業でした。

集中しないとすぐ間違ってしまうのですごく集中して黙々と作りました。

ですが、日本ならではの伝統ぞうりを自分の手で作るということはとても楽しかったです。

完成したものは自分で履くか、母にプレゼントするか悩んでいる所です。

日本には布ぞうり以外にも「藁靴」があると聞きましたが、韓国にも昔の庶民が履いていた「ジプシン」という「藁靴」があります。

(「ジプ」が「藁」、「シン」が「靴」という意味です。)

形は日本の「藁靴」に似ているものもあって、面白いです。

やはり日本と韓国は似ていないようで似ているものが多いなと感じました。

皆さんが見ても、似ていると思いませんか？



↑ 今回作った布ぞうり



↑ 韓国 of 様々な種類 of 藁靴「ジプシン」

From Rokkasho with love,

kayoung♡

2017年1月13日

Blog Entry 104 ドイツのバレンタインデー

皆さん、グーテン・ターク。ジェニーです。

もうすぐバレンタインデーですね。ドイツでも2月14日にバレンタインデーをお祝いしますが、日本とはちょっと違います。ドイツでは、夫婦や恋人同士で出かけたり、お互いにプレゼントをあげたりする「愛の日」です。プレゼントは、チョコでもいいですが、花束やネックレスなども相手が好きそうなプレゼントをお互いに贈り合います。カップルでお祝いする日なので、友チョコや義理チョコなどの習慣はありません。逆に、恋人以外の人にプレゼントをあげれば、「二股！」と思われるかもしれないので、気をつけましょう(笑)。

From Rokkasho with love,

Jenny♡

2017年2月08日

ゲーテン・ターク！ ジェニーです。
皆さんは、カーニバルという祭りをご存知ですか？

日本は「カーニバル」といえば、ブラジルのリオのカーニバルを思い浮かべる人が多いかと思いますが、ヨーロッパでもとても大切な祭りです。キリスト教では、カーニバルが終わると断食が始まります。カーニバルはもともと、断食前に全ての肉や乳製品を使いきるためにできた祭りらしいですが、その由来を知っている人はほとんどいません。楽しい時間を過ごすためにカーニバルをお祝いするという人がほとんどだと思います。カーニバルの習慣は国や地域によって違いますが、仮装パーティーやパレードが一般的だと思います。私の出身地ケルン市のパレードには毎年約 100 万人以上が見に行きます。パレードに出る人はもちろん、観客もみんな仮装します。山車からお菓子が投げられるので、子供にも、とても人気がある祭りです。



カーニバルの楽しさを六ヶ所村の皆さんにも伝えようと思い、2月10日に国際教育研修センターで語学教室の生徒さんを対象にカーニバルイベントを行いました。私は、今年お金を使わない仮装に挑戦し、稲妻に打たれた人になりました(ですが、残念ながらほとんどの人にゾンビだと思われてしまいました)。ロックTVも取材に来ましたが、早速仮装をしてもらいました(笑)。皆さん、ぜひ語学教室の生徒になり、来年のカーニバルイベントに参加してくださいね。



From Rokkasho with love,
Jenny♡
2017年2月27日

『Coffee Break』
六ヶ所村 Official Web Site

Blog Entry 106 八甲田山のスキー

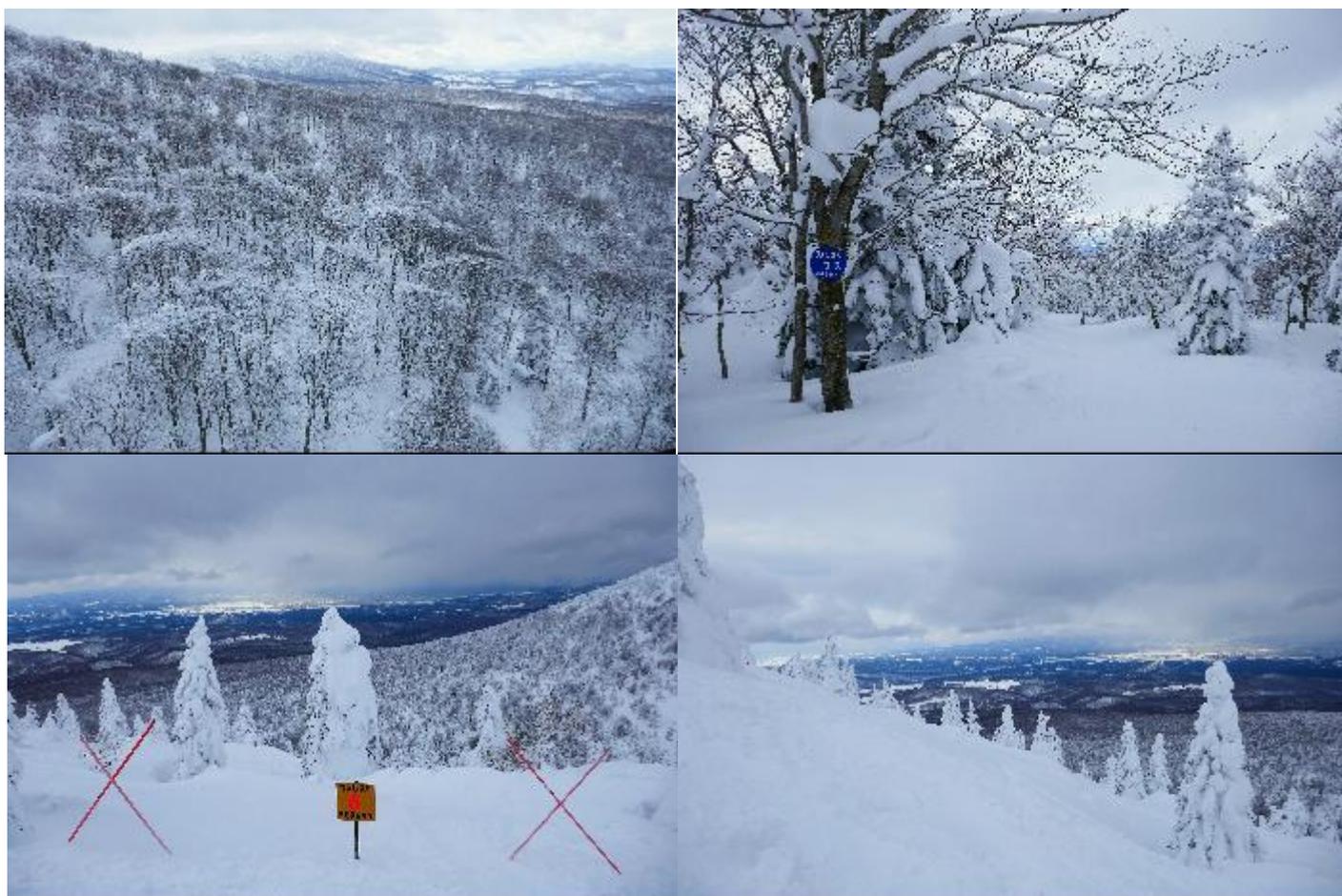
皆さん、グーテン・ターク！ジェニーです。

皆さんは、八甲田山でスキーをしたことがありますか？

私は、先週末初めて行ってきましたが、自然の美しさに感動しました。

子供の時、毎年春休みに一週間ほど、スイスやオーストリアへスキー旅行に行きましたが、八甲田山のように、森の中でスキーをするのは初めてでした。美しい景色を見るとつい立ち止まって写真を撮るため、なかなか下まで降りることができませんでした。

自然のなかで体を動かすのは気持ちいいですね～



From Rokkasho with love,

Jenny♡

2017年3月16日

Blog Entry 107 台湾の食文化

アンニョンハセヨ！カヨンです。

この間、お休みをいただいて台湾に行ってきました。台湾は2月でも昼は20度以上で、暖かくて春のような天気でした。そしてフレンドリーな人が多くて知らない人でもすぐ仲良くなることができました。何よりも、食べ物がおいしくて安かったのが嬉しかったです。

今回はその中でいくつかを皆さんに紹介したいと思います。



→葱油餅(ツォンユーピン)という、台湾のチヂミのようなものです。追加でトッピングも選べられるのでコーンとキムチを載せてもらいました。



→ 釈迦(スージャー)という果物です。お釈迦様の頭に似ているのでこの名前になったそうです。こう見えても中身は柔らかくて甘いですよ。



→ 牛肉麵(ニューローミエン)。牛肉がゴロっと入っていて嬉しいです。



→ 臭豆腐(チョートーフー)です。臭さが強烈で個人的には少しハードルが高かったのですが、海外の人にも人気のある軽食です。



→ 小龍包(ショーロンポー)とシューマイです。小龍包の肉汁はたまりません！

様々なおいしい料理がたくさんある台湾ですが、油で料理するものが多いので、お茶の文化が発達しています。お茶の専門店もたくさんあります。



台湾はおいしい食べ物以外にも、日本の文化が浸透しているところがとても興味深かったです。コンビニやドラッグストアにもここは日本なのかなと思うほど日本の製品が並べられていて、日本語が話せる人もたくさんいました。最近では K-POP や韓ドラの影響で韓国に興味を持っている人も多かったです。

やっぱり異文化は面白いなと改めて感じた休みでした。

From Rokkasho with love,

kayoung♡

2017 年 3 月 16 日

アンニョンハセヨ、カヨンです！

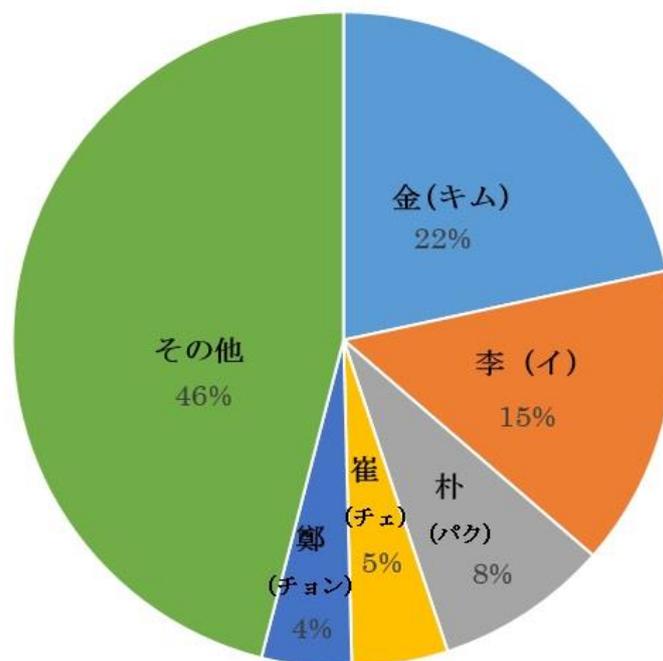
日本でよく聞かれる質問の中の一つは、「韓国人の名字は何種類ありますか。」です。2000年の人口住宅総調査(20年ごと実施)によると、韓国には286種類あるそうです。30万種類あるとされる日本に比べると本当に少ないですね。

一番多い名字、「金(キム)」(22%)です。「5大姓」と言われる名字は「金(キム)」、「李(イ)」、「朴(パク)」、「崔(チェ)」、「鄭(チョン)」です。この5つの名字が韓国の全人口の過半数を占めています。

一般的に結婚すると夫もしくは妻の名字に帰る日本とは違い、韓国では結婚をしても名字は変わりません。子供はお父さんの名字になるため、家族の中でお母さんだけが違う名字を使うこととなります。

ですが、2008年からは法律が変わり、申請をすればお母さんの名字を使うこともできるようになりました。

韓国の名字



From Rokkasho with love,

kayoung♡

2017年3月29日

アンニョンハセヨ、カヨンです！

春になり、新学期の時期になりましたね。ワクワクしていた学生時代を懐かしく感じる今日このごろです。

韓国の学校制度は日本と大体似ているので、ドイツなどの国に比べるとあまり差がないと感じるかもしれません。しかし、実際東京の大学に留学してみたら違う所もたくさんあり、とても面白かったです。その中のいくつかを皆さんに紹介したいと思います。

① 授業の申込みは先着順である。

授業が始まる数週間前からネットで申込みが行われます。先着順であるため、ネットのページがオープンする時間に誰よりも早く接続しようと、ものすごい競争になります。コツは、「ネットが早いネットカフェで行うこと」、「ネット上の時計を見て定時になった瞬間クリックすること」、「プラン B や C も立てておくこと」、そして「何があってもパニックにならないこと」です。好きな授業が取れなかった時は、好きでもない授業を取らなければならなかったり変な時間割になってしまったりするので、授業を申し込む日は学校生活の中でも一番重要な日になります。

② 韓国の大学は昼休みの時間がない。

学校によって多少差はありますが、9時から1限目が始まり、90分間の授業の後、15分間の休み時間があります。しかし、昼休みの時間がないため、学生は時間割を決める時から昼ご飯を食べる時間を設けないといけません。授業の申込みが上手くいかなかった場合は、15分間の休み時間内に昼食を済ませなければならないハードな学生生活になるので要注意です。

③ キャンパス内で出前が頼める。

学校生活で一番楽しい時間である昼休みには、学生食堂や学校周辺のレストラン、コンビニなどを利用してもいいのですが、出かけるのが面倒くさいときは学校に出前を頼むことができます。電話一本でトッポッキをはじめ、中華料理、冷麺、チキン、ピザ、豚足、和食など様々な料理が楽しめます。

つづく

From Rokkasho with love,

kayoung♡

2017年4月19日

Blog Entry 110 愛を表す「5月の木」

皆さん、グーテン・ターク。ジェニーです。

5月まで後1週間ですね。私の地元の若い男性たちが今、非常に悩んでいる時期です。好きな女性に「木」をプレゼントするかしらないか……

そうです！ドイツの様々な地域では、5月1日に男性が好きな女性に「木」を贈る習慣があります。その木は、高さ2～6メートルぐらいの樺の木で、5月1日に贈るので「マイバウム」(5月の木)といいます。

4月下旬、男性はのこぎりを持って森に行き、好きな木を選んでお金を払って選んだ木を切り倒します。値段は木の大きさによりますが、1,500～3,000円です。

切り倒した木はまず自分や友達の家まで運んで庭においておきます。そして、4月30日の夜になると、友達と一緒に好きな女性の家まで運んで、こっそり窓の前において飾ります。地域によって、女性の名前が書かれた手作りのハートもつけます。

一方女性は、その夜、町の市場で行われている「5月の祭り」に行き遊びます。祭りからの帰り道がもうドキドキです。「木はあるかな？」と。

ちなみに、木をもらっても、誰からの贈り物か分からない場合もあります。また、モテる女性は、木が何本もおかれてある可能性もあります。

もらった木は、5月30日に男性がその木をとりに来るまで、ずっと窓の前においてあります。私は町のあっちこちに「愛の証」を見るのがとても面白くて、5月に近所を散歩するのが大好きです。やっぱり面白い習慣ですね。



From Rokkasho with love,
Jenny♡
2017年4月26日